

清流

「通学合宿」をご存知ですか

私は、「キャンプ」や「ペーロン漕艇」、「ウォークラリー」、「山登り(ハイキング)」、「イルカウォッチング」等を仕事としていた時期があります。決して遊んでいたわけではありません。勤務としてやっていたのです。

その時期は、県立天草青年の家で勤務していたからです。ご存知と思いますが、この種の施設は、小・中・高等学校で行われる集団宿泊学習が行われる施設です。本校も先日実施したように、最近の小学校における集団宿泊学習は、「水俣の環境学習」を一緒に行うため、あしきた青少年の家を利用することが多くなっていますが、天草青年の家も同様の施設です。

天草青年の家では、集団宿泊学習だけではなく、様々な主催事業が行われていました。それらの事業の中でも、特筆すべき事業として「青少年長期自然体験活動事業」というものがありました。夏休みに、無人島でのキャンプを中心として、13泊14日の長期にわたり集団生活をしながら自然体験活動をするという事業です。私は、この事業を通して、長期の集団生活と自然体験の素晴らしさと重要性を実感することができました。その詳しい内容について、この紙面では書ききれませんので割愛しますが、14日間を過ごした後の子どもたちの成長には、目を見張るものがありました。また、成果を検証するために、子どもたちに対して追跡調査も行いましたが、調査項目の多くに有意差のある向上が見られました。この事業は、文科省の委託事業でもありましたので、現在、文科省が「長期の集団宿泊体験」や「自然体験」の重要性を訴えている基礎データの一つになったのだと思います。

そんな経験から、私は甲佐小でぜひやってみたくてありました。それは、標題にしている「通学合宿」といわれるものです。通学合宿とは、子どもたちが地域の方々の協力を得て、公民館などの公共施設を活用し、一定期間寝泊まりし、炊事や洗濯などを自分たちの力でやり、学校に通う活動のことで、前任校長は小さな学校で、私が学校近くの宿舎に住んでいたため、そこに子どもたちを寝泊まりさせて通学合宿を実施しました。甲佐小でもと思い、前PTA会長さんやおやじの会の会長さん等に相談したものの、宿舎や食事、入浴等の条件を満たすような計画をつくることができず、あきらめかけていました。

ところが、強く願っていたら何かの道が開けるもので、豊野少年自然の家が主催事業で「防災通学合宿」を行っていることが分かりました。そこで、詳しく話を伺ったところ、本校を対象としての実施が可能であることがわかり、事前打合せを続け、基本的な計画がやっと決定しました。まだ、要項として完成していませんので、詳しいことはお知らせできませんが、まずは今回、日程と概要をお知らせすることにしました。(案の段階ですので今後変更の可能性もあります)

主催…県立豊野少年自然の家 後援…甲佐町教育委員会、美里町教育委員会(予定)
宿泊場所…豊野少年自然の家 通学方法…豊野少年の自然の家所有のマイクロバス
(期間中の学校生活は通常どおりに行う 夜、宿題をする時間は確保してある)
実施期日…平成31年2月6日(水)18:30現地集合～2月9日(土)12:00現地解散(3泊4日)
対象者…5・6年生の希望者(定員各学校20名、希望者が多い場合は抽選)
(美里町立中央小学校も同時開催です。5・6年生の希望が少ない場合は4年生も可)
自然の家での生活…夕食は自分たちでつくる 朝食は食堂食 洗濯は体操服のみ
最終日(土曜日)の午前中は「防災力アッププログラム」を予定
参加費…3,000円(予定)主に食事代

私がイメージしていた通学合宿とは少し異なりますが、子どもたちにとって有意義な経験になることはまちがいないと思います。5・6年の保護者の皆様、子どもたちと相談していただき、参加をご検討ください。